

6 | 30 [火]



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2015
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
☎ 大阪(06)6633-1221(大代表)

「大津絵」の魅力 海外発信

解説書 フランスで出版

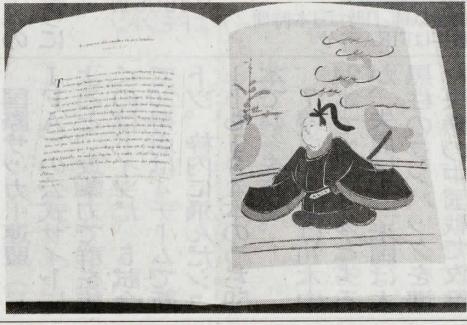
として人気を博したが、明治時代に入つて鉄道が開通し、旧東海道を歩くという形態の旅が一般的でなくなつていいくとともに廃れた。マルケさんは約25年前、日本美術史を研究するため来日した。研究活動の中で、近代洋画の先駆者として知られる浅井忠（185

大津絵は、江戸初期に現在の大津市追分町付近で誕生したとされる。当初は、信仰の一環としての仏教絵画が中心だったが、のちに世俗的な題材を取り上げるようになり、風刺画へと転じていった。当時、東海道を行き交う人たちの土産物として人気を博したが、明治時代に入つて鉄道が開通し、旧東海道を歩くという形態の旅が一般的でなくなつていくとともに廃れた。

マルケさんは約25年前、日本美術史を研究するため来日した。研究活動の中でも、近代洋画の先駆者として知られる浅井忠（185

6～1907年）が、一大津絵に近代西洋絵画の要素が含まれている」との考えに立ち、皿など工芸作品のデザインに大津絵を取り入れていた点に着目。浅井を通じて、大津絵が持つモダンな部分をはじめ、江戸時代の日本にも風刺の文化が

花開いていた」となどと知り、大津絵に魅了されていった。



「日本の民画・
大津絵」の一部

描いたりする大津絵の風刺は普遍的。西洋の画家たちに大きな影響を与えた浮世絵と同じくらい魅力がある」とマルケさん。しかし、大津絵は海外でもほとんど知られていないことから、「魅力を世界に広めたい」との思いで、解説書の執筆を進めていった。

同書は、国内では東京都千代田区の「一誠堂書店」で購入が可能。購入希望などとの問い合わせは日仏会館フランス事務所（☎03・5421・7641）。